みどり法に基づく認定農業者の事例

(株)マルサンファーム（青森県平内町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　13.93ha ・野菜　0.30ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・稲わらを秋起こしですき込む （慣行　3ha→13.93ha） ・有機質肥料の施用により化学肥料を削減 （慣行　窒素10.0kg/10a→7.0kg/10a） ・抵抗性品種を利用して化学合成農薬の削減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・弊社の取組を社会へアピールしたかったため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

青森農業協同組合バサラコーン部会【グループ認定】（青森県青森市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・スイートコーン　449a ・構成員数　13経営体 ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥作物を導入した合理的な輪作体系　（慣行　40a → 470a） ・緑肥の導入による化学肥料低減と肥効調節型肥料（バサラコーン専用442）の施用 （慣行　窒素32kg/10a → 30kg/10a） ・機械除草により化学合成農薬を減らす （慣行　10回 → 9回以下） ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・エコファーマーの認定期間終了に伴い、エコファーマーに代わるものとして引き続き環境負荷低減に取り組んでいくため。 ・グループ申請を行うことにより、個々の書類作成など事務手続きの軽減につながった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（株）アグリーンハート（青森県黒石市）	○経営の概況（品目、経営規模等） 有機栽培：水稲9ha、大豆33ha、アスパラ0.3ha 特別栽培：水稲30ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・秋期の稲わらすき込みや未利用資源堆肥による土づくり ・有機質肥料主体の施肥による化学肥料無施用～５割以上削減 ・化学合成農薬の不使用～５割以上削減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり法の認定により補助事業のポイント加算があることを知り、認定を受けた。

みどり法に基づく認定農業者の事例

山口一茂（青森県黒石市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　3.2ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・プラスチックを使用しない緩効性肥料を施用し、環境負荷低減を図る。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境負荷低減技術を取り入れた水稲栽培の確立を目指したいと考えたため認定を受けた。

みどり法に基づく認定農業者の事例

津軽みらい農協フードプラン 【グループ認定】 （青森県平川市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・りんご　14.19ha ・構成員数　16経営体 ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・牧草草生栽培を実践し、刈り取った草は樹冠下へ敷草する。 ・施肥の窒素成分を青森県基準15kg/10aのうち、1/2の7.5kgを有機質由来の成分としている。 ・化学農薬の年間使用成分数を青森県基準36成分の1/2の18成分以内としている(農薬カウントのない天然由来の農薬や交信撹乱剤を使用)。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・平成５年から近畿圏の生協と減農薬・減化学肥料での契約栽培を実施しており、令和５年からは生協版ＧＡＰも実践し認定の条件を満たしていると思った。 ・みどり認定のメリットを活用し、今後の農業経営に生かせると思った。

みどり法に基づく認定農業者の事例

津軽みらい農協ときわ良質米生産部会 【グループ認定】 （青森県藤崎町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲ほか　156.14ha （うち環境負荷低減事業活動 水稲 95.12ha） ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・稲わらを秋おこしですき込み、有効活用している。 ・有機質肥料を積極的に使用し、化学肥料由来窒素成分を青森県慣行の５割以下としている。 ・温湯種子消毒を実施するなど、化学農薬の使用を青森県慣行の５割以下としている。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・約40年前から関東圏の生協と特別栽培基準で契約栽培を行うなど、環境保全型農業に取り組んでいる。 ・今後、農業経営に活かしていきたい。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（有）ゆめりんご （青森県弘前市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・りんごほか　15.0ha （うち環境負荷低減事業活動 りんご、桃、おうとう、 ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ　計8.0ha） ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・剪定枝チップをほ場に施用している。 ・化学肥料を使用していない。 ・交信かく乱剤の活用や機械除草の実施により化学農薬の使用を青森県慣行の５割以下としている。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・すでに、環境にやさしい農業に取り組んでいたことと、国や県の職員から認定を勧められたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

春義彦 （青森県 五戸町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・だいこん、はくさい、たまねぎ等 露地野菜　3.15ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥の施用 ・化学肥料、化学農薬の不使用 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・東北農政局県拠点からすすめられた。 ・現時点では特になし （機械取得に対する税の優遇は良いと感じるので、今後活用したい。）

みどり法に基づく認定農業者の事例

南風農園 （青森県 八戸市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・にんじん、ばれいしょ、大豆等 露地野菜　5.3ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥の施用 ・有機質由来の肥料を施用 ・防虫ネット、防草シート、除草機械等の使用により、化学農薬を使用しない ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・八戸市農業経営振興センターからすすめられた ・『いわてグリーン農業アカデミー』の現地研修に選ばれ、有機農業のノウハウを多くの方に体験してもらい、交流も出来たこと。

みどり法に基づく認定農業者の事例

吉田宗司 （青森県 八戸市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・露地ピーマン　0.5ha ・ワイン用ぶどう　0.3ha ・緑肥　0.5ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・有機質由来の窒素成分量を増やす ・化学肥料の使用量を減らす ・通路に緑肥リビングマルチや防草シートを使用し、除草剤を使用しない ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・補助事業の採択でポイントが加算されること

みどり法に基づく認定農業者の事例

加納良介 （青森県 南部町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・さつまいも　45ａ ・スイートコーン　10ａ ・ばれいしょ　15ａ ・にんにく　５ａ ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・有機ＪＡＳ対応の有機質資材を施用 ・化学肥料、化学農薬の不使用 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境保護や持続可能な農業に積極的に取り組んでいることが証明されることで、社会的評価が高まるため ・国庫補助金の採択で優遇や設備投資の際の所得税が優遇されること

みどり法に基づく認定農業者の事例

（株） よしだや （青森県 三戸町）	○経営の概況（品目・経営規模等） ・にんにく　２．５ha ○環境負荷低減事業活動の 取組内容 ・雑草を活用した緑肥の導入及び有機質ぼかし肥料の施用。 ・有機質肥料主体の施肥による化学肥料無施用～５割以上削減 ・化学農薬の使用回数を削減し、特別栽培（節農５・化５）（節農５・化不）の対象面積を増やす。 （特別栽培認証面積　14a　→　50a） ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境と調和した農業経営を強化し、信頼される農場づくりの一環として、みどり認定取得を決意しました。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（有）瑞宝 （青森県 中泊町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水　　稲　　４２ha ・大　　豆　　７１ha ・小麦ほか　　１１ha ・にんにくほか　３ha 大型トラクターでの 大豆播種作業 ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・全ての経営ほ場で農薬・化学肥料・除草剤の使用なし（有機栽培） ・大豆、水稲、小麦の輪作による安定生産 ・自家製もみ殻堆肥の施用 ・稲わらを秋起こしですき込み ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・消費者に興味を持ってもらい、手に取ってもらうきっかけとなればとの思いから。 ・設備投資の際の所得税・法人税の優遇措置を受けられるため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（株）小笠原農園 （青森県 つがる市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水　　稲　　１７．０ha ・大　　豆　　１５．０ha ・ね　　ぎ　　０．６ha ・加工トマトほか　　１．４ha 特別栽培米のほ場 ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・稲わらを秋起こしですき込む ・被覆肥料等肥効調節型肥料を施用 ・温湯種子消毒により化学合成農薬を減らす ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・Ｊクレジットへ試験的に取り組む中で、みどり認定へも興味を持った ・Ｊクレジットとみどり認定のセットで、環境への負荷が少ない農業生産を進めていきたい

みどり法に基づく認定農業者の事例

野呂修聖 （青森県 つがる市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水　　稲　１１ha ・大豆ほか　１５ha 大豆の中耕培土作業 ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・大豆と水稲の輪作 ・稲わらのすき込み ・基肥へ肥効調節型肥料等を施用 ・機械除草による化学合成農薬の削減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・令和３年度に全国豆類経営改善共励会で農林水産大臣を受賞し、大豆講習会等で講師を務めるなど人前に出る機会が多くなっていることが、みどり認定者をＰＲする良い機会になると考えたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

福士忍顕 （青森県 板柳町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・りんご　３．２ha ・水　稲　１．２ha ・野　菜　０．７ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・ＥＭボカシ完熟堆肥及び稲わら堆肥の施用 ・フェロモン剤と天然系農薬の使用による化学合成農薬の使用量低減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定をりんごの販売に活かしたかったため。 ・長年取り組んでいる環境にやさしい農業への取組を公的機関に認定してもらえて良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

佐藤勉 （青森県 板柳町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・りんご　２．０ha ・水　稲　０．５ha ・大　豆　２．４ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・ＥＭボカシ堆肥の施用 ・フェロモン剤と天然系農薬の使用による化学合成農薬の使用量低減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定をりんごの販売に活かしたかったため。 ・長年取り組んでいる環境にやさしい農業への取組を公的機関に認定してもらえて良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

(株)佐藤有機農園 （青森県 板柳町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・りんご　４．０ha ・水　稲　３．５ha ・大　豆　６．５ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・ＥＭボカシ堆肥の施用 ・フェロモン剤と天然系農薬の使用による化学合成農薬の使用量低減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定をりんごの販売に活かしたかったため。 ・長年取り組んでいる環境にやさしい農業への取組を公的機関に認定してもらえて良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

奥越部品（株）（青森県板柳町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・トマト・ミニトマト　３３a ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・完熟堆肥の施用による土づくり ・有機質由来の肥料の施用による化学肥料の減少 ・抵抗性品種と台木の利用及び機械除草による化学合成農薬の減少 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・自動車部品を製造している奥越部品（株）は、経営の多角化のため、農業へ参入し、トマトとミニトマトを生産・販売している。 ・トマトとミニトマトの販売を有利にするため、これまでもエコファーマーの認定を受けており、今回、みどり認定も受けることとした。 ・みどり認定を広くＰＲするため、独自の認定シールを作成し、農産物に貼付・販売している。

みどり認定シール

みどり法に基づく認定農業者の事例

乗田孝正（青森県五所川原市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　2.6ha（全て県特別栽培認証） ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・稲わらの秋起こしによる土づくり ・土壌改良資材の活用による化学肥料の低減 ・ポット成苗田植機を導入し、活着の促進と健康な作物体の育成による化学農薬の削減（令和８年～） ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・宅配による産地直売を行っている米に「みどり認定」をうたえることになったのが良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

山口貴弘 （青森県 板柳町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・りんご　０．８ha ・水　稲　１．１ha ・大　豆　２．７ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・稲わら堆肥と豚ぷん堆肥の施用 ・フェロモン剤と天然系農薬の使用による化学合成農薬の使用量低減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定をりんごの販売に活かしたかったため。 ・長年取り組んでいる環境にやさしい農業への取組を公的機関に認定してもらえて良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（有）成田りんご園 （青森県 板柳町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・りんご　４．１ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・りんご樹幹下へ豚ぷん完熟堆肥等を施用 ・フェロモン剤と天然系農薬の使用による化学合成農薬の使用量低減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定をりんごの販売に活かしたかったため。 ・長年取り組んできた環境負荷低減の取組が認められ、全国レベルの果実専門誌に掲載されたことは、万感の思いである。

みどり法に基づく認定農業者の事例

長内幸子 （青森県 板柳町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・ミニトマト3a　・えだまめ　50a ・にんにく　10a　・かぼちゃ　50a ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・ＥＭぼかしなどの完熟たい肥を施用し、地力向上と化学肥料の低減を図るとともに、マルチ栽培により化学農薬の低減を図る。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・特別栽培を行っており、現状のままで、みどり認定を受けられたから。 ・農産物販売を少しでも有利にしたかったから。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（株）成田農産 （青森県 板柳町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　95ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・自動操舵装置を備えたトラクターの利用により、燃料使用量を削減する。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定取得により、自社販売しているお米に付加価値が付いたように感じています。

みどり法に基づく認定農業者の事例

今勝一 （青森県 五所川原市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　１７．３ha ○環境負荷低減事業活動の 取組内容 ・鶏糞堆肥と有機質肥料の 施用により病害虫に強い 作物体に育て、化学肥料と化学農薬を削減する。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・直売している米のお客様に、環境への負荷を軽減して作った米であるとＰＲできることが良かった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

高橋教仁 （青森県 五所川原市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　５ha ・大豆　０．７ha ・野菜　０．３ha ○環境負荷低減事業活動の 取組内容 ・稲わらすき込み ・化学農薬・化学肥料不使用 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定を受けたことにより、農産物に付加価値が付いたと感じている。

みどり法に基づく認定農業者の事例

ＳＫファーム（株） （青森県つがる市）	○経営の概況 ・大　豆　　300ha ・大麦等　　120ha ・だいこん　100ha ・にんじん　　30ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 自動操舵装置を備えたトラクターの利用による燃料消費量の削減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 自動操舵トラクターを所有していたので、新たな取組をしなくても認定申請できた。

みどり法に基づく認定農業者の事例

木村繁高 （青森県つがる市）	○経営の概況 ・水稲　4.8ha ・ミニトマト・きゅうり えだまめ等　0.25ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・自家製ぼかし床土の施用 ・温湯消毒 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定を受けたことにより、農産物に付加価値が付いたと感じている。

みどり法に基づく認定農業者の事例

山谷義美 （青森県 つがる市）	 〇経営の概況 ・水稲　1.6ha 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・堆肥施用（１ｔ/10a） ・温湯種子消毒 ・全て青森県特別栽培農産物の認証（平成元年～） 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・米は全て宅配等による産地直接販売としており、みどり認定により、消費者からの信頼が高まったと感じている。

みどり法に基づく認定農業者の事例

甲田秀行 （青森県 十和田市）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　50a　・キャベツ　4ha ・にんにく　4ha　・ながいも　3ha ・かぼちゃ　1ha 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・完熟堆肥の施用や緑肥を導入した輪作体系による地力の維持・向上 ・完熟堆肥の施用により、化学肥料の使用量低減 ・機械除草やマルチ栽培による化学農薬使用量低減 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定の内容が経営方針に合致し、役立つと感じたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

戸舘里美 （青森県 十和田市）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・にんにく　４ａ 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・有機質由来の成分を含む肥料を使用した土作り及び化学肥料の使用低減 ・化学農薬の不使用 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定の内容と環境や人に優しい農業をしたいという経営方針が合致したため、認定を受けた。

みどり法に基づく認定農業者の事例

苫米地義勝 （青森県 十和田市）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　275a ・大豆　30a ・麦　　20a ・その他 12a 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・稲わらすき込みによる地力向上 ・温湯消毒や米ヌカ・もみ殻使用による化学農薬及び化学肥料の不使用 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境に優しい農業に元々興味があり、健康に良い食品作りを実施していた。そんな中、県民局からみどり認定の存在を教えてもらい、認定を受けた。

みどり法に基づく認定農業者の事例

佐々木正徳 （青森県 十和田市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・にんにく　30a ・ながいも　100a ・ごぼう　100a ・大豆　210a ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・有機質肥料（堆肥）の施用 ・化学農薬の不使用（黒マルチ） ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境保全型農業直接支払交付金で必要だったため申請した。 ・環境負荷低減農作物は企業に買い取ってもらっており、自分で価格を申請できる点が良い。営農計画も立てやすい。 ・農薬や肥料代が減ったのも良かったことである。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（有）みらい天間林 （青森県 七戸町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　31.7ha ・大豆　61.1ha ・そば　37.4ha ・トマト等　0.4ha ・自己保全　1.7ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・有機資材の施用（刈取り残渣等のすき込み）による地力向上及び維持 ・発酵鶏糞使用による化学肥料不使用の維持 ・化学農薬不使用の維持 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境保全型農業直接支払交付金で必要だったため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

沢目惇史 （青森県 十和田市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　30a ・WCS　100a ・にんにく　18a ・ピーマン　3a ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・完熟堆肥の使用による化学肥料の削減 ・マルチ栽培による化学農薬の削減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定により補助事業のポイント加算があると市町村からすすめられたため。 ・コスト削減に繋がったのがよかった。

みどり法に基づく認定農業者の事例

認定者Ａ氏 （青森県 十和田市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・にんにく　50a ・夏秋いちご　5.6a ・そば　20a ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥栽培を導入した輪作による地力向上 ・完熟堆肥の使用による化学肥料の削減 ・マルチ栽培による化学農薬の削減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・農林水産事務所からすすめられたため。 ・資材高騰を受け、肥料に頼らずコストを抑えた上で、収量を維持・向上する取組に興味があった。 ・堆肥・緑肥のように自然にあるものを施用し、環境に配慮した栽培方法に魅力を感じた。

みどり法に基づく認定農業者の事例

附田浩平 （青森県 七戸町）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・大豆　171a ・小麦　50a ・水稲　29a 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・植物残さすき込みによる化学肥料の不使用 ・中耕培土や手取り除草による化学農薬の不使用 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境保全型農業直接支払交付金で必要だったため申請した。今後は、環直以外の交付金の必須要件にもなっていくことから、所得補償につながると思い、認定を受けた。 ・今まで環境にやさしい農業への第三者認証が有機JASと特別栽培しかなかったので、みどり認定取得によりさらなるアピールにつながると感じている。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（株）エクセルワールド （青森県 十和田市）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・にんにく　10a ・自己保全　38a 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・有機質資材（堆肥）による地力の向上及び維持 ・堆肥等の資材施用による化学肥料不使用の維持 ・機械除草等による化学農薬不使用の維持 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・新規就農だからこそ、慣行栽培にとらわれず、自然由来のものを活用して栽培したいと取り組みはじめた環境にやさしい農業と、みどり認定の内容が合致していたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（株）CRTワールド（青森県十和田市 本社：埼玉県新座市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　4ha　　・にんにく　0.8ha ・ビーツ　0.4ha　・たまねぎ　0.4ha ・その他　1.4ha（にんじん、かぼちゃ、ピーマン、ナス、トマト、大豆等） ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・有機質資材（堆肥、微生物資材）による地力の向上及び維持 ・堆肥等の資材施用による化学肥料不使用の維持 ・機械除草等による化学農薬不使用の維持 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・持続可能な農業や環境負荷低減の取組は、弊社の有機JAS認証農場として実践していたことと共通している部分が多いため。 ・環境保全型農業直接支払交付金で必要だったことや、県や市から認定の勧めがあったため。

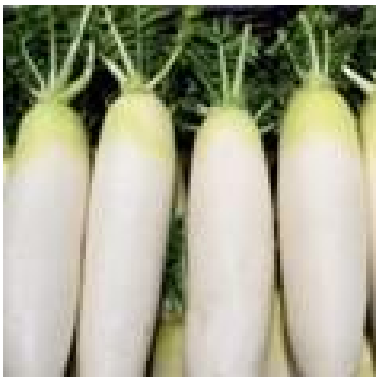
みどり法に基づく認定農業者の事例

豊川総一（青森県十和田市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　3.8ha ・小麦　4.5ha ・その他　3.6ha （飼料作物、ながいも、にんにく、ごぼう等） ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・堆肥の施用による地力の向上及び維持、化学肥料の使用減少 ・米ぬか散布・機械除草による化学農薬の使用減少 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり投資促進税制を活用して機械を導入したいと考えたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（有） ナチュラル ファーム （青森県 おいらせ町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・にんじん　30.9ha ・ごぼう　24.6ha ・だいこん　15.5ha ・休閑緑肥　9.1ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥の作付け・堆肥の施用による地力の向上及び維持、化学肥料の使用減少 ・マルチ栽培・機械除草による化学農薬の使用減少 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・以前から有機栽培や特別栽培に取り組んでいたことや、補助事業を受ける際の資格要件となり、経営に有利に働くと思ったため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

東北六ケ所 大根出荷組合 【グループ認定】 （青森県 東北町、六ケ所村）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・だいこん　50ha ・構成員数　７経営体  ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・有機質由来の成分を含む肥料の使用による化学肥料の削減 ・機械除草による化学農薬の削減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定により補助事業の採択でポイントが加算されるため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

久保佑樹 （青森県 十和田市）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・にんじん、さつまいも、きゅうり、ごぼう、だいこん、ばれいしょ等 露地・施設野菜　1.3ha 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥作物の導入による地力の向上及び維持 ・鶏ふん・米ぬか施用や太陽熱養生処理による化学肥料不使用の維持 ・太陽熱養生処理、防虫ネット、機械除草による化学農薬不使用の維持 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境保全型農業直接支払交付金で必要だったことや、市や同交付金対象農家から認定の勧めがあったため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

中嶋寿樹 （青森県 むつ市）	〇経営の概況（品目、経営規模等） ミニトマト 2.6a、さやいんげん 2.6a、 アスパラガス 3.3a、きくいも 3.0a、 みょうが 2.0a、なす 1.2a、パプリカ 1.2a、 オクラ1.3a 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・発酵鶏ふんを施用 ・化学肥料、化学農薬の不使用 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・県特別栽培農産物の認証を受けて生産しており、環境に優しい農業に取り組んでいることをＰＲしたかったから。

みどり法に基づく認定農業者の事例

留目昌明 和楽堂 （青森県三戸町）	○経営の概況 （品目、経営規模等） ・りんご　　3.4ha ・にんにく　0.4ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・りんご剪定枝を砕き、糠などと合わせた堆肥を施用。 ・自家製ぼかし肥料を使用。 ・りんごとにんにくは有機ＪＡＳ認証取得。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・将来的に有機ＪＡＳ対応の加工場を作り、アップルパイなどの加工品を作りたい。みどり認定を受けることで、融資を受けやすくしたい。

みどり法に基づく認定農業者の事例

谷地村 富美夫 （青森県新郷村）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・にんにく　２．３ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・ホタテ貝殻、米ぬかを活用した有機資材の投入 ・休耕地での緑肥栽培、すき込み ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・事業で今後認定が必要になると聞いたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

中岫均 （青森県 七戸町）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・にんにく 120a　・アピオス 15a ・トマト　16a　・ながいも 40a ・水稲　260a 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥作物を導入した合理的な輪作体系等による地力の向上及び維持 ・肥効調節型肥料や有機質資材の施用により、化学肥料の使用量低減・不使用の維持 ・マルチ栽培による化学農薬使用量低減・不使用の維持 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境保全型農業直接支払交付金で必要だったことや、同交付金対象農家から認定の勧めがあったため。 ・既に取り組んでいた特別栽培や緑肥を活用した輪作が、みどり認定の内容と合致していたから。

みどり法に基づく認定農業者の事例

山田一博 （青森県 七戸町）	〇経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　120a　・ながいも 120a ・ねぎ　120a　・セロリ　10a　・緑肥　５ha 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・有機質資材の施用により、地力の維持・向上及び化学肥料の使用低減に努める。 ・重曹の効果的な散布により、慣行値の５割以下の使用にとどめることで、化学農薬の使用減少に努める。 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・新たに取り組みを始める特別栽培や既に行っていた緑肥を活用した輪作が、みどり認定と合致していたため。 ・みどり認定を見つけた家族の勧めがあったため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

中野渡正光 （青森県 十和田市）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　221a ・トマト 18a ・そば　149a 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥作物を導入した合理的な輪作体系を組むほか、有機質資材の施用による、地力の向上及び維持。 ・有機質資材の施用により、化学肥料不使用の維持。 ・機械除草や天然物質由来資材の活用、マルチ栽培により、化学農薬の不使用の維持。 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・購入者へ向けた環境負荷低減に取り組んでいる保証となると感じたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

三上統史 （青森県 つがる市）	〇経営の概況 ・にんにく　4.7ha （うち特別栽培0.6ha） ・ね　　ぎ　4.8ha （うち特別栽培0.6ha） 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・醗酵鶏糞や天然資材の施用による土づくり にんにくの栽培状況 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・従来から取り組んでいる醗酵鶏糞や天然資材の施用による土づくりが、環境負荷低減技術として認められると知ったので、認定申請した。

みどり法に基づく認定農業者の事例

（株）ミウラファーム津軽（青森県弘前市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　99.65ha ・野菜　0.55ha （うち環境負荷低減事業活動 水稲5.0ha、野菜0.55ha） ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・水稲は、稲わらすき込みにより地力向上に取り組む。また、有機質由来成分を含む肥料の活用や温湯種子消毒等の実施により化学肥料・化学農薬の低減を実施しており、同取組の面積拡大を目指す。 ・野菜は、緑肥による土づくり、有機質由来肥料やマルチ等の活用により化学肥料・化学農薬を使用しない栽培を行う。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・国の有機転換推進事業を活用したため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

成田勝敏（青森県七戸町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・ごぼう14a ・ながいも53a ・キャベツ13a ・トマト2.4a ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥作物を導入した合理的な輪作体系 ・有機質由来の成分を含む肥料、堆肥（発酵ケイフン、トンプン、バイオエース）の施用による化学肥料・化学農薬の低減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・これまでもエコファーマーの認定を受けていたため、みどり認定も受けることとした。

みどり法に基づく認定農業者の事例

山端哲也 （青森県 三沢市）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・にんにく 56a　・ばれいしょ 37a ・ごぼう 34a　・ズッキーニ 4a ・きゅうり 3a　・にんじん 1a ・緑肥 85a 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・堆肥の施用や残渣すき込みによる地力の維持・向上及び化学肥料の不使用 ・マルチ栽培や機械･手取り除草による化学農薬の不使用 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境保全型農業直接支払交付金で必要となるため。 ・環境に配慮した農業を実践するために就農したこともあり、行っている取り組みとみどり認定の内容が合致していたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

久田稔 （青森県 三沢市）	〇経営の概況（品目、経営規模等） ・にんにく（種子含む）117a　・ごぼう 60a ・ながいも（種子含む） 75a　・緑肥 340a 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・緑肥作物を導入した合理的な輪作体系やすき込みによる地力向上・化学肥料の削減 ・機械除草や農薬適期使用による成分回数の削減 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境保全型農業直接支払交付金で必要となるため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

甲田秀行 （青森県 十和田市）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　50a　・キャベツ　4ha ・にんにく　4ha　・ながいも　3ha ・かぼちゃ　1ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・完熟堆肥の施用や緑肥を導入した輪作体系による地力の維持・向上 ・完熟堆肥の施用により、化学肥料の使用量低減 ・機械除草やマルチ栽培による化学農薬使用量低減 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・みどり認定の内容が経営方針に合致し、役立つと感じたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

長谷川貴輝 （青森県 鰺ヶ沢町）	○経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　８ha ・メロン　1.2ha ○環境負荷低減事業活動の取組内容 ・スライドモアを導入し畦畔と農道法面の除草を行い、刈り取った草は堆肥化し農地に還元する。 ○認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・以前から環境負荷低減事業活動に取り組んでいたため。

みどり法に基づく認定農業者の事例

袴田大智 （青森県 おいらせ町）	 〇経営の概況（品目、経営規模等） ・水稲　　25.5ha ・にんじん　1.5ha 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・稲わらのすき込み、完熟堆肥や米ぬか施用による地力の維持・向上 ・側条施肥や完熟堆肥の施用により、化学肥料の使用量低減 ・抵抗性品種の導入や被覆栽培による化学農薬使用量低減 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・環境負荷低減の先駆者になりたかったから。

みどり法に基づく認定農業者の事例

長尾　俊吾 （青森県 深浦町）	〇経営の概況（品目、経営規模等） ・ばれいしょ 5　ha ・大豆　　5.5ha等 〇環境負荷低減事業活動の取組内容 ・完熟豚ふん堆肥の施用より、健康な作物を育て、化学肥料と化学農薬を削減する。 〇認定を受けたきっかけ、良かったこと等 ・以前から環境負荷低減事業活動に取り組んでいたため。